

令和5年度日本小児外科学会
第3回定例理事会議事録

日 時：令和5年（2023年）7月27日（木）11：00～16：00

会 場：大阪大学東京オフィス+WEB

出席者（大阪大学東京オフィス）：

小野 滋（理事長）、家入里志（副理事長）、田尻達郎（理事・会長）、尾花和子、加治 建、田中秀明、平林 健、淵本康史、米田光宏（以上理事）、奥山宏臣（以上監事）、照井慶太（庶務委員長）、田中奈々（庶務副委員長）、山田洋平（財務会計副委員長）、柴田晶子（事務局）

出席者（WEB）：

浮山越史（理事・次期会長）、石橋広樹、内田広夫、（以上理事）、越永従道（以上監事）、上原 秀一郎（財務会計委員長）、松浦俊治（機関誌委員会委員長・庶務委員）、望月響子（教育委員会委員長）、中田光政（学術・先進医療検討委員会委員長）、瓜田泰久（倫理・医療安全管理委員会委員長）、藤野明浩（データベース委員会委員長）、上野豪久（利益相反委員会委員長）、古田繁行（医薬品・医療機器検討委員会委員長）、宮野 剛（国際・広報委員会委員長）、田井中貴久（保険診療委員会委員長）、小松秀吾（悪性腫瘍委員会委員長）、好沢 克（小児救急検討委員会委員長）、城田千代栄（ワークライフバランス検討委員会委員長）、小林 隆（トランジション検討委員会委員長）、森 大樹（規約委員会委員長）、薄井佳子（研究倫理委員会委員長）、文野誠久（ガイドライン委員会委員長）、古賀寛之（ロボット支援手術レギュレーション検討委員会委員長）、木下義晶（施設認定委員会委員長）、古村 眞（専門制度庶務委員会委員長）、臼井規朗（第39回秋季シンポジウム会長）、田中 潔（第40回秋季シンポジウム会長）、大植孝治（第41回秋季シンポジウム会長・PSI委員会委員長）、

欠席者 岡島英明（専門医認定委員会委員長）、藤代 準（NCD連絡委員会委員長）

議事案件：

議 事：

1. 第3回定例理事会の議事録署名人は、淵本 康史理事・田中 秀明理事とした。
2. 令和5年度第2回定例理事会議事録につき、全会一致にて承認された。
3. 審議事項
 - 1) 各種委員会委員と業務内容の見直し並びに活動方針について（各委員長）
 - (1) 各種委員会委員について
各種委員会委員長より、就任挨拶がなされた。
各種委員会委員長より、委員メンバーの案が提出され、理事会内規および他委員会との調整により、構成メンバーが承認された。
 - (2) 業務内容の見直し並びに活動方針について
各種委員会委員長より委員会業務内容ならびに活動方針案が提出され、質疑応答・審議お

よび適宜修正を行った上で、承認された。修正がされた委員会規則を含めて規約委員で文言の調整を行ったうえで、HPに掲載することとした。

2) 第61回学術集会について（田尻会長）

田尻会長より、資料に基づき準備状況が報告提案され、以下のように承認された。学会企画は追加の可能性がある、都度理事会に報告することが報告された。学術集会中の委員会開催は減らすという方針を継続することが確認された。第61回学術集会で開催する講習会は倫理・医療安全講習会であることが確認された。

2) 第62回学術集会について（浮山次期会長）

浮山次期会長より、資料に基づき進捗状況が報告され、承認された。日本小児救急医学会とのジョイントセッションを企画していることが報告された。
会期：2025年6月5日(木)～6月7日(土)
会場：一橋大学一橋講堂 〒101-8439 千代田区一ツ橋2-1-2

4) 第39回秋季シンポジウムについて（臼井秋季シンポジウム会長）

臼井次期秋季シンポジウム会長より資料に基づき進捗状況が報告され、承認された。
日時：2023年10月28日（土）
会場：九州大学百年講堂
テーマ：小児外科領域における感染症対策

5) 第40回秋季シンポジウムについて（田中潔次期秋季シンポジウム会長）

田中次期秋季シンポジウム会長より口頭で進捗状況が報告され、承認された。
日時：令和6年10月26日（土）
会場：一橋講堂
テーマ：少子化時代における小児外科医育成
開催形式：現地開催＋ライブ配信（予定）

6) 第41回秋季シンポジウムについて（大植次々期秋季シンポジウム会長）

大植次々期秋季シンポジウム会長より、資料に基づき進捗状況が報告された。
日時：令和7年11月1日（土）
会場：千里ライフサイエンスセンター
テーマ：新生児外科疾患の長期フォローにおける問題点

7) 各種委員会報告および審議事項

(1) 庶務委員会（照井委員長）

照井委員長より、資料に基づき報告がなされた。

2023年6月末現在の会員数は、評議員を除く正会員1,655名（うち海外2名）、評議員284名、準会員28名、名誉会員55名（うち海外8名）、特別会員68名（うち海外1名）、

賛助会員 1 団体の合計 2,090 名+1 団体である。

小児外科学会に初めて獣医師から入会申し込みがあったことが報告され、準会員としての入会が承認された。

(2) 財務会計委員会（上原委員長）

上原委員長より、今回特に報告事項が無い旨が述べられた。

(3) 専門医制度委員会（専門医制度各委員長）

古村眞専門医制度庶務委員会委員長より、資料に基づき専門医制度委員会について報告された。委員会で議論した結果、修正システムを事務局で操作できる方が良いという結論に至ったことが報告され、承認が求められた。審議の結果、新専門医制度移行後、改めて改修が必要になることを確認の上、年次登録システム及び NCD の改築を行うことが承認された。

(4) 機関誌委員会（田中秀明担当理事）

田中理事より、資料に基づき報告がなされた。

大植 PSI 委員会委員長より、資料に基づき 2024 年度 PSI JSPS Issue 投稿に関して報告がなされた。

PSI JSPS Issue 投稿のスケジュールについて審議の結果、2024 年 3 月 31 日をメ切とすることが承認された。

PSI Prize の受賞論文 2 編は、基礎部門と臨床部門から 1 篇ずつというわけではないことが確認された。

(5) 国際・広報委員会（渚本担当理事）

渚本担当理事より、英文ページの作成状況について報告された。

(6) 保険診療委員会（尾花担当理事）

尾花担当理事より、資料に基づき報告がなされた。

・レジストリを要件として保険収載された医療技術については、保険診療委員会からロボット支援手術検討委員会に依頼して報告することが承認された。

・輸液製剤協議会から依頼された、学会からの輸液製剤の必要性に関する意見書の提出について承認された。

(7) 教育委員会（内田担当理事）

内田担当理事より、7 月 30 日に開催された第 38 回卒後教育セミナー・第 14 回小児内視鏡外科手術セミナー及び 8 月 5 日に開催されたサマースクールについて報告された。

(8) 悪性腫瘍委員会（平林担当理事）

平林担当理事より、過去のデータについて、媒体によっては古いハードが必要になる可能性があることが報告された。

(9) 学術・先進医療検討委員会（米田担当理事）

米田担当理事より、資料に基づき第60回学術集会における優秀ビデオ選出について報告された。

「腹腔鏡下噴門形成術における解剖学的ランドマークを意識した食道周囲の剥離法」（静岡県立こども病院小児外科 矢本真也 先生）

委員会の内規に従い、上記の1題を優秀ビデオとして学会ホームページの手術動画コーナーで公開することとし、副賞として学会から賞金が授与される予定であることが報告された。

(10) 倫理・医療安全管理委員会（石橋担当理事）

石橋担当理事より、第61回学術集会の講習会を検討することが報告された。

(11) データベース委員会（田中秀明担当理事）

田中担当理事より、今回特に報告事項がない旨が述べられた。

(12) 小児救急検討委員会（平林担当理事）

平林担当理事より、新旧担当理事・委員長で引継ぎをする予定であることが報告された。

(13) トランジション検討委員会（加治担当理事）

加治担当理事より、今回特に報告事項がない旨が述べられた。

(14) ワークライフバランス検討委員会（尾花担当理事）

尾花担当理事より、資料に基づき報告がなされた。

WLB 検討委員会新旧メンバーによる、2023年秋季シンポジウムでの講演会中止についての打ち合わせについて報告された。

委員会開催後は議事録を作成し、委員会フォルダにアップして保存することが承認された。

ハラスメントアンケート結果が提示され、9月の理事会で審議することになった。

委員会名を ワークライフバランス検討委員会 から『ワーク・ライフ・バランス委員会』とすることが承認された。

(15) 規約委員会（石橋担当理事）

石橋担当理事より、今回特に審議報告事項がない旨が述べられた。

(16) 研究倫理委員会（石橋担当理事）

石橋担当理事より、今回特に審議事項がない旨が述べられた。

(17) NCD 連絡委員会（渕本担当理事）

渕本担当理事より、今回特に審議報告事項がない旨が述べられた。

米田理事より、Audit の結果を会員に周知してほしいとの希望が述べられ、了承された。

(18) ガイドライン委員会（加治担当理事）

加治担当理事より、今回特に審議報告事項がない旨が述べられた。

(19) 利益相反委員会（米田担当理事）

米田担当理事より、今回特に報告事項がない旨が述べられた。

越永監事より、2017 年度から 2020 年度までは日本医学会のガイドラインに則って研究倫理委員会と利益相反委員会に外部委員に入っていたが、現在の委員会に外部委員がないのは何故か、との質問があった。

当時を知る学会支援機構の仁田尾職員も交えて確認したところ、外部委員をお願いしていた先生の内、希望する報酬と学会の予算の折り合いがつかない方がいたこと、その他の先生方にも新委員会発足の際に委員就任のお願いをしていなかったことが判明した。

上記の経緯を踏まえて検討した結果、2020 年度まで外部委員をお引き受けいただいていた入江 源太先生、三宅 守常先生に、越永監事を通じて、顧問として外部委員をお願いすることになった。

越永監事からは両先生へ依頼することについて了承いただき、また、当学会には顧問のポジション規定がないので、庶務委員会と財務委員会に職務規定および報酬規定を作ってもらい、理事会で審議するよう提案がなされた。

(20) 医薬品・医療機器検討委員会（内田担当理事）

内田担当理事より、今回特に報告事項がない旨が述べられた。

(21) ロボット支援手術検討委員会（家入副理事長）

家入副理事長より、今回特に報告事項がない旨が述べられた。

委員会名をロボット支援手術レギュレーション検討委員会から『ロボット支援手術検討委員会』に変更することが承認された。

(22) 総合調整委員会（家入委員長）

家入委員長より、今回特に報告事項がない旨が述べられた。

(23) 日本外科学会理事会（田尻前々理事長）

田尻会長より、外科学会の社員総会で代議員定数を「300 名以上 350 名以内」から、「350 名以上 400 名以下」に変更することが承認されたこと、外科学会としては、増員した 50 名分については、女性会員に就任していただきたいという意向であることが報告された。

(24) 四者協関連（小野理事長）

小野理事長より、今回特に報告事項がない旨が述べられた。

8) 【日本医学会連合 門田班_臨床外科グループ】6 月 22 日 KOM 議事録固定・受託研究契

約書案（小野理事長）

小野理事長より、6月22日 KOM 議事録と受託研究契約書案が報告された。

9) ワイドシリン出荷調整に関して（小野理事長）

小野理事長より、日本小児科医会から厚生労働省宛に提出する「ワイドシリン細粒 10%・20%（一般名：アモキシシリン 100 mg・200mg 細粒）の出荷調整に対する要望書」について報告された。

10) 参議院議員 自見はなこ事務所より 超党派成育基本法推進議員連盟と「こどもまんなかニュース」のご案内送付について（小野理事長）

小野理事長より、資料に基づき報告された。

参議院議員 自見はなこ事務所より、小児外科学会を、こどもたちの健やかな発育を目指すため国会議員有志によって結成された超党派成育基本法推進議員連盟の案内、及び、こども家庭庁の取り組みに関する広報物「こどもまんなかニュース」の送付先とすることについて問い合わせがあったことが報告され、承認された。

1. 報告事項

1) 理事長報告（小野理事長）

- (1) 日本医学会連合からの通信文「役員就任のお知らせ」を受領した。
- (2) 日本産科婦人科学会の通信文「理事長退任・就任の挨拶」を受領した。
- (3) 日本看護科学学会の通信文「理事長退任・就任の挨拶」を受領した。
- (4) 日本消化器外科学会の通信文「理事長退任・就任の挨拶」を受領した。
- (5) 日本の医療の未来を考える会からの寄贈本「集中」を受領した。
- (6) 国際医学情報センターからの寄贈本「あいみつく vol44-2」を受領した。
- (7) 難病のこども支援全国ネットワークからの寄贈本「がんばれ！ Vol.199」を受領した。
- (8) 厚生労働省からの寄贈本「医薬品・医療機器等安全性情報 No.402」を受領した。

2) 次回定例理事会日程の確認（小野理事長）

次回定例理事会は令和 5 年 9 月 26 日(火)11:00～16:00 大阪大学東京オフィスにて開催することが確認された。

理事長 _____

理事 _____

理事 _____